みち

第 19 号
（2024年3月1日 発行）
安城保護区保護司会
発行責任者　石川 誠
編集　安城市社会福祉課内
安城保護区保護司会
総務部会

生きづらさに寄り添う

安城市長　三星　元人

保護司の皆様におかれましては、犯罪や非行をした人の立ち直り・社会復帰を支援する更生保護活動や地域での犯罪防止活動にご尽力いただくとともに、犯罪の無い安全で安心な地域社会を目指す「社会を明るくする運動」にもご協力をいただいております。皆様の活動に心から敬意を表するとともに深く感謝申し上げます。

さて、本市では、「第5次安城市地域福祉計画」に包含する形で「安城市再犯防止推進計画」の策定作業を進めています。犯罪や非行の背景には、望まない孤独や社会的孤立など、地域社会における様々な「生きづらさ」があると言われています。この「生きづらさ」に寄り添い、支えあうことで、住民一人ひとりが住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らしていくことを可能にするとともに、誰でも再出発ができる社会が実現すると思います。

そのためには、保護司の皆様をはじめとした更生保護関係者のお力が必要です。市と更生保護関係者の皆様が互いに協力することで、安全・安心な地域社会を実現していきましょう。今後とも一層のお力添えをお願いいたします。

ごあいさつ

名古屋保護観察所　所長　横地　環

安城保護区保護司会の皆様におかれましては、平素より、罪を犯した人の立ち直りを支える処遇活動、そして犯罪防止活動等の地域活動をはじめ、さまざまな更生保護の活動にご尽力をいただき、心から感謝を申し上げます。

ようやくのコロナ明けで社会が元気を取り戻しつつありますが、再犯防止対策は引き続き、課題となっています。再犯を起こす人の多くが、様々な生きづらさを一人で抱え込み、孤立の末に失敗することを考えると、再犯を防ぐには、各人が生活する地域で必要な支援が受け続けられる体制作りが鍵となります。

こういった観点から策定された国の再犯防止推進計画は今年二期目を迎え、地方再犯防止推進計画を策定する地方公共団体が年々増える中、安城市におかれましても、今年度中に地域福祉計画に包含する形で策定の準備中と伺っており、大変ありがたく、当庁としても情報の提供等、必要な協力に努めてまいる所存です。

今後も、昨年度行われた刑法等の一部改正を通じて「息の長い社会復帰支援」を拡充し、さらには「地域社会に貢献する更生保護」の実現を目指し、皆様とともに着実に歩んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

第73回社会を明るくする運動

犯罪予防部会　部会長　塚本　和彦

今年度の「第73回社会を明るくする運動」は、新型コロナが5月8日から「5類感染症」に位置づけられたため、啓発活動はコロナ禍以前に近い活動を行うことができました。また、市民の皆様にも広く周知を図るため、市役所北庁舎に懸垂幕を掲げると共に、アンフォーレの図書情報館に社会を明るくする運動の趣旨に合った書籍や物品を厳選しながら展示しました。

標語作文コンテストは、社会を明るくする運動への理解を深めてもらうことを目的として、小中学生に犯罪や非行について考えたことや感じたことを標語や作文に書いてもらいました。特に、今年から標語は一般市民の方からも募集することにしました。応募作品数は、標語では小中学生4,627点、一般75点、作文では162点の応募がありました。

優秀作品27点の表彰式は、9月30日にアンフォーレホールにて開催しました。アトラクションでは安城西中学校吹奏楽部が、力強い演奏で表彰式を盛り上げていただきました。

標語･作文コンテスト表彰式

安城西中学校吹奏楽部の演奏

標語･作文コンテスト入賞作品（安城市標語･作文コンテスト）

小中学生の部

標語の部【応募数:4,627点】

最優秀賞
- 「スマホより　家族の時間　大切に」　武石　愛々（安祥中学校２年）
- 「気付いてる?　笑うあの子の　SOS」　伊藤　さら（安城南中学校２年）

優秀賞
- 「支える手　寄り添う心　社会の輪」　廣村　莉音（安城北中学校３年）
- 「だいじょうぶ　やさしさいっぱい　あんじょうし」　織田凛太郎（桜井小学校４年）
- 「挨拶で　輝く笑顔　溢れ出す」　非　公　開（安城西中学校１年）
- 「大丈夫　まだまだ君は　やりなおせる」　鈴木　颯介（安城北中学校２年）

入　選
- 池田　莉佳（里町小学校３年）
- 大脇　　燿（明祥中学校３年）
- 木庭　結人（今池小学校５年）
- 伴野　雅広（二本木小学校６年）
- 田中　陽翔（里町小学校６年）
- 谷澤　利音（安城北中学校３年）
- 田中　捺葵（三河安城小学校６年）

作文の部【応募数:162点】

- **最優秀賞**　「あいさつの力」　馬塲　大和（今池小学校６年）
- **優秀賞**　「私のヒーロー」　畑野　仁瑚（三河安城小学校６年）
- **入　選**　「言葉のチカラ」　日吉　彩華（安城西中学校３年）

一般の部

標語の部【応募数:75点】

最優秀賞
- 「気配り、目配り、心配り、みんなで明るい未来へ」　三石　友美
- 「生きる意味　笑顔が映す　明るい社会」　池端　伸二

優秀賞
- 「地域の目　誰かの過ち　防止する」　石川喜代子
- 「毎日必ずぎゅ～抱っこ　親子で作ろう　安心基地」　香村　玲奈
- 「明るい社会つくる夢　勇気の鍵で扉を開ける」　池端　晴美
- 「見守る目　社会で防ごう　事故･犯罪」　伴野　洋之

入　選
- 礒村　千雅
- 杉浦　真二
- 林　理紗子
- 加藤　幸大
- 西澤　彩

寄り添うことの難しさ

安城保護区　保護司　Y･I

「今晩は、お願いします」と始まる保護観察対象者との面談の日です。最近は穏やかに面接ができることが多くなりました。しかし、保護司になった頃の対象者は、暴走族で検挙され鑑別所から退所した少年や無免許・迷惑運転・万引き・窃盗等で保護観察を受けることになった少年たちが多く、面接の約束の日時が守れなかったり、挨拶ができなかったりしていました。

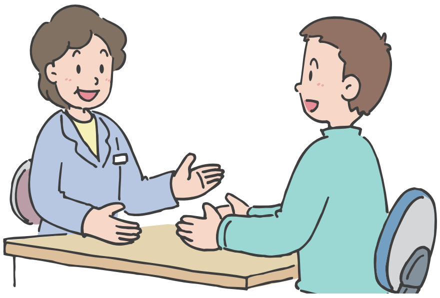
その中でもAさんは特に問題行動が多く、公共施設等の器物破損で保護観察処分となりました。面接時、日常の生活のことを聞けば答えてはくれますが、面倒くさそうな態度で反省の様子はあまり見られませんでした。

ある時、面接以外の場でAさんと出会い、目が合うと小さく手を振ってきました。私はどきっとしました。顔見知りの人がいて、思わず出た行動かなと思いました。ただ、親しみを持ってもらうのはいいのですが、「保護観察の自覚があるのだろうか」と不安にも思いました。その後もAさんの面接態度は必ずしも良いとは言えませんでしたが、親の協力もあり面接時刻の約束は守ってくれました。

そして、良好解除となり、父親は「将来更生した姿を見てもらえるようにしたい」と挨拶され、私もAさんの更生を願いました。

ところが、Aさんは再び保護観察処分を受けたと聞きました。残念に思うと同時に、もう少し心に寄り添えるような更生のための指導ができていたら、父親の願う将来に近づけたかなと思い、力不足を感じました。

Aさんのように少年が、良好解除で保護観察期間が終了することは喜ばしいことです。しかし、何年も保護司をしていても対象者の心に残る対応ができているのか自信がありません。これからも迷いながらも対象者に寄り添っていきたいと思います。



保護司としての体験談

安城保護区　保護司　M･H

保護司を拝命し、一番大きな仕事は、保護観察対象者を担当し、更生保護活動をすることです。特に、対象者との初めての面接の際の対応が重要です。どのような呼びかけをし、どのように面接していったらよいかとても不安になったことを今も鮮明に覚えています。

最初に受け持った対象者のBさんは、面接時に、ほとんど口を開くことがなく、いろいろな話題を提供してもほとんど反応がなく、困ったことを記憶しています。

今思えば、Bさんの立場からすれば、私ども保護司より、もっと緊張していただろうと思います。このことがあってから、面接では対象者の立場に立って、話しやすい環境をつくることが大切であることに気づきました。

こうすれば、面接は百点満点という正解は見つかりませんが、対象者に緊張感を与えずリラックスした雰囲気をつくるように心がけています。いかに心を開いて会話ができ、どうしたら信頼関係を築くことができるか、まだまだ模索中です。

やはり保護司の「しごと」は、奥が深いなと思う毎日です。

保護司会各部会の活動紹介

令和5年10月4日～5日 県外研修

研修部会　松田　このみ
赤川　ルミ子

10月4日（水）安城保護区保護司会の今年度の県外研修は東へと向かいました。初日は、静岡市にある更生保護施設「少年の家」を視察しました。天窓から日の光が入るように設計された建物はとても明るく、綺麗に整頓をされていました。

施設長のお話はとても分かりやすく、週に2回ほど各地の更生保護女性会の方々が食事の支度に来てくださること、近隣の住民の皆様がとても好意的に接してくださっていることなどを聞き感銘を受けました。

2日目は浜松市の金原明善(きんばらめいぜん)記念館を訪れました。地元では知らない人はいないほどの名士で小学校では必ず学習するそうです。巨額の私財を投じて天竜川治水事業をはじめ多くの事業を手掛け、現在の更生保護制度の礎を築いたことなどを玄孫の方から伺うことができました。

保護司として、まだまだ経験不足な私たちにとっては勉強になる有意義な2日間でした。

県外研修(少年の家)

第1回ステップアップ研修会の紹介

研修部会　鈴木　一

7月5日（水）さくら庁舎にて第1回ステップアップ研修会が開催されました。30名の参加者が4つのグループに分かれ、それぞれ与えられたテーマ（少年・薬物・詐欺・性犯罪）に沿った体験事例を元に協議が行われました。

私が参加したグループでは、①担当した犯罪事例と罪を犯してしまった人の生育環境②面談時の対応で困ったこと・苦労したこと③対応事例のないまたは経験の浅い保護司へのアドバイス、の3点について発表がありました。面談経験がない私は、面談に至るまでに準備しておくことや配慮すべきこと、面談当日に心がけること等、たくさん質問させていただきました。どの質問にも一つ一つ具体的にていねいに説明していただき、たいへん勉強になりました。

『罪を犯してしまった人の生育環境は変えられないが、本人の考え方は変えられるかもしれない。私たち保護司の役割は、過ちを犯してしまった人が、自ら罪の重さを自覚し、もう一度やり直し、社会の一員として役に立とうと前向きに考えられるよう、励まし、支援することではないか』 研修会を通してこのような気づきを得ることができ、新たに身の引き締まる思いを実感できた貴重な時間でした。

グループ協議後の発表

犯罪予防部会の活動内容

犯罪予防部会　部会長　塚本　和彦

第73回社会を明るくする運動の活動は、新型コロナが5月8日から「5類感染症」に位置づけられたため、コロナ禍以前の活動状態に戻りつつあります。

今年度の一斉街頭啓発活動は、7月1日（土）明祥中学校区を重点地区として安城産業文化公園デンパークで実施しました。たくさんの草花に囲まれたすばらしい環境で行うことができました。

午前11時から副市長、保護観察官、市議会議員、町内会長、校長、更生保護女性会、BBS会、協力雇用主会の協力を得て保護司含め40人体制で啓発物品を来園者へ配布しました。当日は天候の影響で来園者数は期待したほどではありませんでしたが、来園者には気持ちよく啓発物品を受け取っていただきました。

また、ミニ集会は8学区10会場で開催し、延べ500名余の参加をいただきました。各学区とも地域の特性を生かしたテーマを設定し、参加者による熱心な話し合いが行われました。特に今年度から保護司会活動を支えていただいている更生保護女性会、BBS会、協力雇用主会の方々延べ30人余の参加もいただき、集会が今まで以上に有意義なものになりました。

街頭啓発活動

つながりを大切に

育成指導部会　部会長　山本　康孝

育成指導部会は、更生保護4団体との連携を図ることを目的に活動しています。各校区の協力雇用主会会員との交流では、対象者の減少に伴い、雇用の実績もなくなるなど、連携における課題も見えてきました。8月23日には、協力雇用主会会長鈴木浩氏にご参加いただき、部会員との学習会を開きました。現状での課題をもとに、新たな方法を実践していくことが必要であることの認識を共有することができました。

12月6日、更生保護女性会との合同研修を開催しました。「つながり～不登校・ひきこもりのこどもたち」をテーマに、市つながりディレクター兼SSW（スクールソーシャルワーカー）の三浦陽市先生と加藤治好先生によるご講話をいただきました。子どもにとって、安心できる居場所と自分が必要とされていること、役に立っていることを自覚できることが、孤立から抜け出すために必要であることを教えていただきました。相手との向き合い方の一助となりました。

更生保護女性会との合同研修会

薬物乱用防止指導員の活動

薬物乱用防止指導員　代表　安藤　義美

コロナに伴う規制が緩和された今年度は、6月の「6･23ヤングキャンペーン啓発活動」、7月の「社会を明るくする運動に伴う街頭啓発活動、地区ミニ集会での薬物乱用防止講話」、8月の「安城七夕まつりヤングキャンペーン啓発活動」、そして、1年の活動の集大成として11月に実施した「麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動」など計画どおりの活動を行うことができました。

中でも、11月11日のJAまつり会場で実施した「麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動」では、若いご家族連れを重点に「薬物乱用防止運動を行っています。薬物はダメですよ!」と声掛けをしたところ、来場者からも「ご苦労様です。薬物はやりません」、「薬物はダメですよね!」などと、声をいただき、薬物乱用防止指導員として意を強くした一日でした。

「大学での薬物事犯」、「大麻グミの問題」など、若年層における大麻汚染が深刻化する昨今、薬物乱用防止指導員としての地道な活動が活きることを思いながら、活動の足を止めずに指導員一同頑張りたいと思います。

薬物乱用防止運動
<JAまつり会場にて>

更生保護サポートセンターの活動

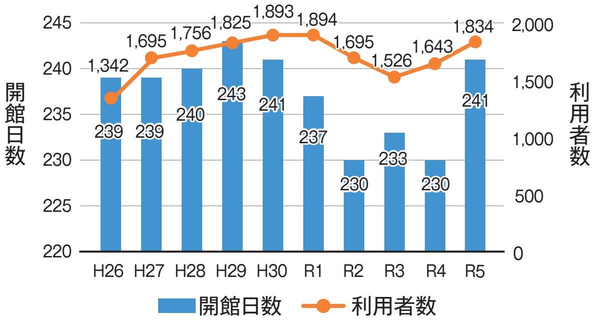
センター長　杉浦　博之

安城保護司会の更生保護サポートセンター（以下「サポセン」）は、市役所本庁舎の西にあるさくら庁舎の1階に開設しています。現在は平日の午前、午後にそれぞれ3時間ずつ開館しており、更生保護の活動拠点として更に利用しやすい環境作りのため当番担当者を中心に月1回定例会を開いて改善点等の話し合いも行っています。

開設以来10年余が経過し、近隣保護区からも視察や見学の依頼をたびたび受けてきました。今年度は5月に半田保護司会の皆様10名にお越しいただき、サポセンの見学とともに本市サポセン担当者等11名との交流・意見交換会を実施しました。当日はサポセンの運営だけでなく、両保護司会の施策・活動状況等についても話し合いました。特徴的な取り組みなどを情報交換し合うことで、お互い今後に向けて課題やヒントが発見でき、有意義な時間になりました。

今年度は新型コロナの制限が緩和され、以前の利用状況に戻りつつあります。これまで以上に気軽に利用していただける場所を目指して改良を進めていきたいと思います。

【サポートセンター利用状況】



令和5年度 栄誉に輝いた方々

全国保護司連盟理事長表彰	稲垣美保子	井上美子	神谷美砂	
中部地方更生保護委員会委員長表彰	稲垣正義	今原康徳		
中部地方保護司連盟会長表彰	野村昌平			
名古屋保護観察所長表彰	江坂慎也	杉浦清治	山本典子	横山佐喜郎
名古屋保護観察所長感謝状（保護司会事務協力者）	栢植宗樹			
愛知県保護司会連合会長表彰	宇佐美成美	大岡綾子	大見健治	神谷智美
	杉浦資典	鈴木一		
安城市一般功労者表彰（安城市発展祭）	都築眞一	鳥居章二	富田博治	

（敬称略・順不同）

新任・退任保護司紹介（令和5年度）（敬称略・順不同）

退任に寄せて

思い出

東山中学校区　保護司　鈴木　和枝

保護司の活動は大変貴重な体験でした。

平成7年5月25日、保護司に任命され安城保護区保護司会に28年間お世話になりました。新任の頃は事件数が多く、自分の未熟さを感じながら対象者と面接をする日々でした。

当時の保護司会には専業農家、僧侶、会社員、自営業、専業主婦などいろいろな先生方がいらっしゃいましたが、皆さん気軽に相談できる雰囲気では無かったように感じます。

来訪や往訪を重ねていると対象者と家族、それぞれの考えの違いに気づかされたこともありました。外見だけでは分からない対象者の気持ちを知ることができました。

初めての来訪時、一言も喋らず面接を終えた対象者、目も合わせられなかった少年、来訪時いつも違う彼女を連れてくる少年もいました。今の少年より分かりやすかったように感じます。

長い保護司活動で時々嬉しいことがありました。大人になり家族と居る姿を見かけたり、成人になった彼らに会ったりした時には思わずちいさな万歳をしてしまいました。

長い間ありがとうございました。安城保護区保護司会皆様のご活躍を楽しみにしております。

新任に寄せて

新任保護司の抱負

篠目中学校区　保護司　深田　真史

私は53歳で会社を自己都合退職をして7年間両親の介護をしました。去年から町内会長を引き受け、今年度5月から保護司になりました。

保護司の定例会や社会を明るくする運動などに参加させていただき、先輩保護司の方々の自信に満ちた様子を拝見していると、対象者の更生に力を尽くされてきたと感じることができました。

先日やんちゃな学生とすれ違うことがありました。今までなら近寄りたくないという思いが先に立ちますが、その時は将来この子たちが保護観察対象者になり、担当保護司として信頼関係が築けるかと考えていました。これは、少しですが保護司になったと思った瞬間です。

私は会社員、介護人、町内会役員と仕事をしてきましたが、「保護司は我天職だった」と思えるように頑張っていきたいと思います。先輩保護司の方にはご指導よろしくお願いいたします。

お疲れ様でした

伊藤　恵美子（篠目中学校区）
都築　眞一　（桜井中学校区）
今原　康徳（安城北中学校区）

弔　意　心より御冥福をお祈りします。

岩月　隆夫（桜井中学校区:R5.7. 5亡）
加藤　勉　（安城西中学校区:R5.9.16亡）

よろしくお願いします

神谷　善之
（東山中学校区）

黒柳　みゆき
（桜井中学校区）

今井　隆喜
（安城北中学校区）

鈴木　将人
（桜井中学校区）

塚原　信一
（安城西中学校区）

筒井　広治
（安城北中学校区）

【編集後記】

令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「2類」から季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行しました。

街中でマスクを外す人や4年ぶりにイベントが行われるなどコロナ前の何事もなく平穏無事な日常生活が送られていたことがことさら懐かしく感じられます。

しかし、今まだ度重なる変異株の脅威にさらされ、今後もしんどい思いを抱えながら生活をすることになるでしょう。

でも、どんな状況になろうとも、困難に負けず、明るく元気に過ごし、共に支え合い、笑顔で生き生きとした日々を送っていきたいものです。

事務局　安城市役所　社会福祉課社会福祉係
安城市桜町18番23号　TEL0566-71-2262

R6.3.1500N